

熱中症に関する現状と予防法

別添

熱中症の現在の状況

- ・ 消防庁によれば、熱中症による救急搬送件数は7月と8月で45,949人、搬送時に亡くなられていた方は158人と、前年夏期3か月間に比べ、それぞれ3.6倍(12,871人)、9.9倍(16人)に上ると報告されています。
- ・ 室内で熱中症を発症し、救急搬送されたり、不幸にも亡くなられたりする事案が数多く報道されています。

室内にいる場合でも
注意が必要です！！

熱中症の予防法

- ・ こうした現状から、外出の際は、日傘や帽子を着用する、日陰を利用するなどにより暑さを避けたり、こまめに水分・塩分を補給することなど、改めて熱中症の予防に努めていただくようお願いします。
- ・ 特に、御高齢の方々については、暑さや体の水分不足を自覚しにくいこと、体の熱を放散しにくいことから、のどが渴かなくても水分補給したり、扇風機やクーラーを使って温度調整することなどが重要です。
- ・ また、熱中症の予防や重症化の防止のためには、周囲の方々が協力して、独り暮らしの高齢者を注意深く見守るなど、周りの方々も気にとめて頂くことが重要です。

扇風機やクーラーを
使わないことにより、
体調をくずしてしまう
場合があります！！